

平成28年第4回竜王町議会定例会（第4号）

平成28年12月22日

午後1時00分開議

於 議 場

1 議 事 日 程

- 日程第 1 議第79号 竜王町職員の勤務時間、休暇等に関する条例および竜王町職員の子供休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第 2 議第68号 竜王町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 3 議第69号 竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 4 議第70号 平成28年度竜王町一般会計補正予算（第4号）
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
- 日程第 5 議第75号 平成28年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第2号）
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第 6 議会広報特別委員会委員長報告
- 日程第 7 地域活性化特別委員会委員長報告
- 日程第 8 人口減少対策特別委員会委員長報告
- 日程第 9 所管事務調査報告
(議会運営委員会委員長報告)
(総務産業建設常任委員会委員長報告)
(教育民生常任委員会委員長報告)
- 日程第10 議員派遣について
- 日程第11 委員会の閉会中の継続調査の申出について

2 会議に出席した議員（12名）

1番	貴多正幸	2番	小西久次
3番	若井猛志	4番	森島芳男
5番	森山敏夫	6番	内山英作
7番	松浦博	8番	古株克彦
9番	菱田三男	10番	山田義明
11番	岡山富男	12番	小森重剛

3 会議に欠席した議員（なし）

4 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町長	西田秀治	教育委員会教育長	甲津和寿
副町長	杼木栄司	総務主監	山添みゆき
住民福祉主監	松瀬徳之助	会計管理者	犬井教子
政策推進課長補佐	小森久美子	総務課長	奥浩市
税務課長	川嶋正明	生活安全課長	込山佳寛
住民課長心得	森岡道友	福祉課長	嶋林さちこ
健康推進課長	中寫幸作	発達支援課長	木戸妙子
農業振興課長兼 農業委員会事務局長	徳谷則一	商工観光課長	井口清幸
建設計画課長	井口和人	上下水道課長	竹内修
工業団地推進課長	山路太郎	教育次長 兼教育総務課長	田邊正俊
学校教育課長心得	清水和仁	生涯学習課長	西川良浩

5 職務のため議場に出席した者

議会事務局長	知禿雅仁	書記	寺本育美
--------	------	----	------

開議 午後1時00分

○議長（小森重剛） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席議員数は、12人であります。よって、定足数に達していますので、これより、平成28年第4回竜王町議会定例会を再開いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

それでは、これより議事に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 1 議第79号 竜王町職員の勤務時間、休暇等に関する条例および竜王町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例**

○議長（小森重剛） 日程第1 議第79号を議題として、提案理由の説明を求めます。

西田町長。

○町長（西田秀治） ただいま上程いただきました議第79号につきまして、提案理由を申し上げます。

議第79号、竜王町職員の勤務時間、休暇等に関する条例および竜王町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例につきましては、平成28年8月8日の人事院勧告において、働きながら育児や介護がしやすい環境整備をさらに進めるため、介護休暇の分割取得、介護時間の新設及び育児休業等に係る子の範囲を拡大する等の内容が勧告され、国において地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律が平成28年12月2日に公布され、平成29年1月1日に施行されることから、これらに鑑み、条例の一部改正を行うものです。

以上、議第79号につきまして提案理由を申し上げましたので、よろしく御審議を賜り、御承認をいただきますようお願い申し上げます。

○議長（小森重剛） 以上で提案理由の説明が終わりました。

これより、質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより採決を行います。

日程第1、議第79号を原案のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第1、議第79号は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 2 議第68号 竜王町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例
(教育民生常任委員会委員長報告)**

○議長（小森重剛） 日程第2 議第68号を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 議第68号、教育民生常任委員会報告

平成28年12月22日

委員長 山田 義明

去る、12月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました、議第68号、竜王町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について、審査の経過と結果を報告いたします。

本委員会は、12月14日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、松瀬住民福祉主監、森岡住民課長心得他担当者の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

竜王町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例については、福祉医療費助成事業のうち、小中学生に係る医療費助成に関して、従来の入院医療費に加え、通院医療費の助成を行い、小中学生の医療費の全額を助成しようとするものです。

施行日については、自庁システム及び国保連合会システムの改修、受給券の印刷、申請受け付け、さらには医療機関等への周知などに時間を要することから、平成29年10月1日としているとの説明を受けました。

主な質疑応答。問) 助成費として年間約3,000万円が必要と予測されているが、その財源はどのように考えているのか。答) ふるさと納税による寄附を一部利用し、残りは一般財源から支出します。

主な意見としまして、今後の財源が不安である中、十分に考えて恒久的に進め

てもらいたい。

慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

以上でございます。

○議長（小森重剛） ただいま、教育民生常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

日程第2、議第68号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立全員であります。よって、日程第2、議第68号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### **日程第 3 議第69号 竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例**

**○議長（小森重剛）** 日程第3 議第69号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

**○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦）** 議第69号、総務産業建設常任委員会報告。

平成28年12月22日

委員長 古株 克彦

去る12月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第69号、竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月13日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、山添総務主監、徳谷農業振興課長、並びに関係職員の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例は、農業委員会等に関する法律の改正に伴い、竜王町農業委員会の委員（以下「農業委員」という）及び農地利用最適化推進委員（以下「推進委員」という）の定数等を定めるものです。

第2条、農業委員の定数は14人とする。

第3条、推進委員の定数は、14人とする。

第4条、農業委員の任命について必要な事項は、町長が別に定める。また、推進委員の委嘱について必要な事項は、竜王町農業委員会が別に定める。

この条例は、平成29年7月20日から施行され、あわせて竜王町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例を廃止するとともに、竜王町特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正し、それぞれの報酬を定めるものです。

以下は主な質疑応答です。

問) 町長は、何を基準にして農業委員を任命するのか。答) 団体の推薦、個人の推薦、公募による応募者を評価基準に照らし合わせて任命します。

問) 農業委員、推進委員の報酬は、どのようにして決めたのか。答) 現行の農業委員の報酬に定数を掛けて、その額を28人で除した金額に、国から交付される農地利用最適化交付金の1人当たり6,000円を加えたものです。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

**○議長（小森重剛）** ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より、審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

3番、若井猛志議員。

**○3番（若井猛志）** 議第69号、竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例についての反対の討論を行います。

昨年の国会で、農協改革関連法の一環として、農業委員会等に関する法律が改正され、成立しました。

農業委員会法や農地法は、これまでもたびたび改正されてきましたが、農業の大規模化の推進を担う役割が、この間強められてきました。2009年の農地法の改正では、農政の下請機関としての位置づけが一層強まりましたが、農民の代表機関としての性格は維持されてまいりました。

しかし、今回の改正は、従来の延長と見るわけにはいかないと思います。法律の目的から農民の地位の向上を削除し、委員の公選制を廃止し、意見の公表・建議を業務から削除するなど、農業者の民主的な機関としての性格を法律から消し去り、制度の根幹を変質させる内容になっているからです。

今まで竜王町の農業委員会でも農政に対する予算要望、あるいは、農業振興策などの提案等、農政についての重要な役割を果たしてまいりました。例えば、免税軽油制度の延長、TPPの問題や農業施策等で町や県、国に建議を上げてきましたが、それができなくなります。

これまでの農業委員会は、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位向上に寄与するために、農地が一定面積以上ある全ての市町村に設置されてきました。その性格の1つは、農地法などに基づく農地行政を主に担う行政委員会としてです。

もう一つは、委員の多数が農民の直接選挙で選ばれることや、農民の意見を農政に反映することが業務の1つとされていることから生じる、農民の代表機関という性格です。業務の内容が変化し、政府の農政に対する制約が強まる中で、農業委員会の権限や機能が大きくなる面はありますが、地域農業の危機が深まる中で、地域の農業は地域で守るという立場に立って頑張ってきた農業委員会は少なくありませんし、竜王町の農業委員会もそうだったと思います。

今回、新たな柱として農地利用最適化推進委員の制度が導入されました。推進委員は、農業委員会が農地利用の最適化を推進する担当区域を定めて委嘱するもので、主に合議体としての意思決定を行う農業委員会とは別に、担い手への農地の利用、集積・集約、耕作放棄地の発生防止、解消等の地域における現場活動を担うとされています。農業委員会は、これまで農地の移動、転用の許可等の合議体としての決定行為と地域における現場活動を一体で取り組んでまいりました。現場活動を積極的に行うために、それを切り離すというのが今回の改正です。

農業委員は、前者に徹すればよく、委員の定数は委員会を機動的に開催できる

ようにということで、現行の約半分ぐらいに減らされました。竜王町でも、現行21人から14人と約6割少しのところまで削減されました。定数が半減されれば、その条件が農業委員も現場に出向くことは可能ですが、定数が削減されれば、その条件が狭められるということは否めません。この新しい制度に対して、これまでの農業委員は現場で頑張っただけでこなかったのかというのか、あるいは、農業委員と推進委員の役割分担や連携が果たしてうまくいくのか、こういうふうな批判や戸惑い、不安も広がっております。

農業委員会法の改正は、農協法や農地法の改正と一体ですが、そこに貫かれているのはTPP受け入れを前提として国内の体制づくりであり、今まで進められてきた家族農業中心の戦後農政を根底から覆すという方針です。

農業の競争力強化、あるいは大規模化一辺倒の農政の推進をする、政権は農地利用の集積や法人化、企業参入、耕作放棄地の解消などを農政の柱に掲げてきました。2013年の国会で、農地中間管理機構を創設して、多額の補助金を用意して、農地集積、集団化、企業参入の仕組みをつくってきたのもそのためです。

今、地域の農業や農地を守るのに何よりも必要なものは、農政の大元からの転換が求められるところです。

もう一点は、報酬の改定です。

現在、農業委員会で月1回の総会に出席すれば報酬が受けられますが、約半日で今いただいている報酬は、時間当たりになるとかなり高いものになっております。それを今回の改定で、まだもう少し高くするというふうに出されております。農業委員会全体で見ますと、今現行は21人ですが、推進委員と農業委員を合わせると今度は28人となり、総額で大きなアップとなってまいります。滋賀県他の市の報酬を見ても、時間幾らという単位で設定されているところもあります。竜王町でも、ぜひともそういう立場で、時間当たりの単価で出席した方に報酬を出す、そういうふうな制度にしてもらいたいと思います。

以上、今申しました点から、議第69号、竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例についての、反対の討論といたします。

**○議長（小森重剛）** ほかに討論ありませんか。

2番、小西久次議員。

**○2番（小西久次）** 私は、議第69号、竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例、委員長報告に対して賛成の討論をいたします。



農業委員会は、今回の改正で農民の地位向上から農業の健全な発展、また、農業者の代表として、農業者みずからの地位向上を目指す組織から国民経済的な観点で政策目的を実現するための組織として、政策の実働部隊として位置づけられました。担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規参入促進といった農地利用の最適化を農業委員会の必須業務とすることで、農地利用最適化推進委員を新設し、農業委員と連携しながら農地の集約等も含めることは、農業の生産力増進、農業経営の合理化のためには最も有効な改正だと考えます。

また、農業委員の選任方法の変更については、農業者の代表として農業委員会の性格を維持できるのか、町長の恣意的な任命が行われぬかという意見もありますが、先の衆参両院の農林水産委員会で、地域の代表性が堅持されるよう十分配慮されることと附帯決議をされております。農業者・農業者の団体が候補を推薦できることから、地域代表制が確保されると考えます。

また、任意業務であった農業・農民に関する意見公表、建議が廃止されますが、農地利用の最適化に限定されるわけですが、農業者の代表として意見提出は可能であります。

定数条例に関しても、また、報酬等についても、先ほど反対討論がありましたけれども、近隣を参酌する中で、竜王町はそんな高くはございません。近隣と同等、もしくは低いぐらいでございます。そのような中で、今後においても農業委員、また、最適化推進委員の連携によって、会議だけでなく、多岐にわたってこれまで以上での地域活動が求められております。人・農地プランの作成・修正、地域農業の話し合いの推進、農地の出し手・受け手のアプローチ、農地パトロール等いろいろ多岐にわたっております。そのような面で、今回、今後におきましても、農業委員、並びに農地利用化推進委員の連携によって、さらに竜王町農業に密着した取り組みが可能であると考えます。

以上のことから、議第69号、竜王町農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例につきまして、賛成の討論といたします。

**○議長（小森重剛）** ほかに討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

日程第3、議第69号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を

求めます。

[賛成者起立]

○議長（小森重剛） 起立多数であります。よって、日程第3、議第69号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 4 議第70号 平成28年度竜王町一般会計補正予算（第4号）
（総務産業建設常任委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第4 議第70号を議題といたします。

本案は、総務産業建設常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 議第70号、総務産業建設常任委員会報告

平成28年12月22日

委員長 古株 克彦

去る12月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました議第70号、平成28年度竜王町一般会計補正予算（第4号）について、審査の経過と結果を報告します。

本委員会は、12月13日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、甲津教育長、山添総務主監、田邊教育次長兼教育総務課長及び関係課長等の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成28年度竜王町一般会計補正予算（第4号）は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ2億8,387万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ66億338万1,000円に改めるものです。

主な質疑応答は、問）滋賀竜王工業団地関連の土地取得について1億9,160万円が計上されているが、土地取得の面積と単価は幾らか。答）団地内の防災施設は5,586平米で単価は3万4,000円です。国道477号の岡屋交差点付近の追加は、182平米で単価は8,300円で、岡屋自治会からの取得です。

問）竜王西小学校体育館改修工事設計業務委託料、544万4,000円の減額が竜王西小学校校舎周辺沈下改修工事設計業務委託料626万2,000円に充てられたのか。当初予算で決まっているものをそう簡単に変えられるのか。

答) 公共施設の長寿命化に向けた国の新たな施策で補助金の対象になることから、校舎周辺沈下改修工事の業務委託料に切りかえ、体育館の急を要する補修工事については修繕費で実施いたしました。

問) 校舎周辺沈下改修工事の実施時期はどのように考えているのか。答) 工事については、長期にわたることから、来年夏休みに実施しようと考えています。児童に支障のないところから1日でも早く取りかかる予定です。

委員会からは、補正予算に対する執行部の考えを事前に関係課と調整を図り、十分にまとめてから答弁するよう希望します。

以上、慎重審査の結果、全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

以上です。

○議長(小森重剛) ただいま、総務産業建設常任委員会委員長より審査の経過と結果の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

日程第4、議第70号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長(小森重剛) 起立全員であります。よって、日程第4、議第70号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

**日程第 5 議第 75号 平成28年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第2号)**  
**(教育民生常任委員会委員長報告)**

**○議長(小森重剛)** 日程第5 議第75号を議題といたします。

本案は、教育民生常任委員会に審査を付託しておきましたので、その審査の経過と結果について委員長より報告を求めます。

教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

**○教育民生常任委員会委員長（山田義明）** 議第75号、教育民生常任委員会報告。

平成28年12月22日

委員長 山田 義明

去る、12月12日の本会議において、本委員会に審査の付託を受けました、議第75号、平成28年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第2号）について、審査の経過と結果を報告いたします。

本委員会は、12月14日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと会議を開き、西田町長、松瀬住民福祉主監、嶋林福祉課長ほか担当者の出席を求め、説明を受け審査いたしました。

平成28年度竜王町介護保険特別会計補正予算（第2号）は、補正予算（第1号）までの歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5,167万5,000円を追加するものです。

主な内容は、歳出では地域密着型介護サービス給付費4,226万4,000円、介護予防サービス給付費266万2,000円、高額介護サービス費174万3,000円、特定入所者介護サービス費304万1,000円のそれぞれ増額です。

歳入においては、これらサービス給付費、サービス費及び地域支援事業へのルール分の負担として、国庫支出金の介護給付費国庫負担金が996万7,000円、支払基金交付金の介護給付費交付金が1,416万8,000円、県支出金の介護給付費負担金647万7,000円、一般会計繰入金733万7,000円のそれぞれ増額で、一般会計からの繰り入れはサービス給付費、サービス費及び地域支援事業へのルール分と事務費への繰り入れです。

主な質疑応答。

問) 小規模多機能型居宅介護は、前年度後半から利用者がふえ、25名になったことから補正されたと思うが、今後、利用人員の見通しをどのように考えているのか。新たな多機能施設の予定はあるのか。答) 今後は、施設の利用状況に応じて第7期介護保険事業計画策定に当たり、ニーズ調査をしながら慎重に対応します。

慎重審査の結果、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

以上でございます。

**○議長（小森重剛）** ただいま、教育民生常任委員会委員長より審査の経過と結果

の報告がございました。

これより、委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、質疑はこれで終結いたします。

これより、討論に入ります。討論ありませんか。

[「なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** ないようでありますので、討論はこれで終結いたします。

これより、採決を行います。

日程第5、議第75号を委員長報告のとおり決定することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

**○議長（小森重剛）** 起立全員であります。よって、日程第5、議第75号は委員長報告のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 6 議会広報特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第6 議会広報特別委員会委員長報告を議題といたします。

議会広報特別委員会委員長、森山敏夫議員。

○議会広報特別委員会委員長（森山敏夫） 議会広報特別委員会報告。

平成28年12月22日

委員長 森山 敏夫

本委員会は、平成28年第3回定例会閉会後の9月29日、10日5日、12日、18日、24日に委員会を開催し、議会だより177号の編集作業を行い、11月1日に発行しました。また、177号からは、紙面のレベルアップを目指し、先進地視察研修の学びを踏まえて、新たに一般質問内容のその後を追う「追跡コーナー」を設けることに決定しました。

また、本委員会は、去る10月5日に三重県川越町議会議会広報特別委員会、10月26日に茨城県高萩市議会議会広報委員会、11月22日に京都府木津川市議会広報編集委員会より、議会広報の編集についての視察研修を受け入れ、広報編集技術のレベルアップを図ることを目的に、記事の編集方法、課題など活発な意見交換を行いました。

次に、本委員会は、定例会中の12月6日午後2時15分から、委員全員出席

のもと委員会を開催し、議会だより178号について掲載記事の概要検討と役割分担を決定しました。

議会だより178号は、平成28年第4回定例会の内容を中心に、平成28年度補正予算、委員会活動報告、一般質問、いきいき人生などで18ページにまとめ、平成29年2月1日に発行することになりました。なお、編集のための委員会を、12月27日、平成29年1月6日、13日、20日に開催することを決定しました。

次に、本定例会中の12月12日午前10時45分から、委員全員出席のもと委員会を開催し、「議会だより編集マニュアル」の作成に向けて、素案をもとに協議・検討を行いました。

編集マニュアルについては、今後、委員会で検討を重ね、平成29年3月中に完成させることを決定しました。次回、編集マニュアル検討のための委員会を、平成29年1月25日に開催することを決定しました。また、栃木県栃木市議会より議会広報編集に関する視察研修の申し入れがあり、2月8日に当委員会で受け入れることに決定しました。

以上、議会広報特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの議会広報特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、議会広報特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第 7 地域活性化特別委員会委員長報告

○議長（小森重剛） 日程第7 地域活性化特別委員会委員長報告を議題といたします。

地域活性化特別委員会委員長、岡山富男議員。

○地域活性化特別委員会委員長（岡山富男） 地域活性化特別委員会報告。

平成28年12月22日

委員長 岡山 富男

本委員会は、10月24日午前9時より、委員全員出席のもと町執行部より西田町長、桴木副町長、山添総務主監及び関係課長の出席を求め、所管事務調査を行いました。

1、(株)雪国まいたけの状況について。

(株)雪国まいたけから1社進出の意向を表明された企業があること、また、地元の方には、農工法の適用区域である以上は、住宅・商業施設は建てられないこと、また、農工法を除外すれば農地に戻すしかないことも理解してもらえたことの報告を受けました。

主な質疑応答。

問) (株)雪国まいたけから町に地区計画を定めてほしいとの依頼があったが、地区計画を定めておかないとその企業は進出できないのか。答) この地区計画は、計画内容に基づき町が定めるものであり、地区計画を定めないと開発ができません。また、地区計画は地元の同意を得る必要はありませんが、地元への説明は必要です。

問) 地区計画を定めるのに何カ月かかるのか。答) 県の同意を得るのに、2カ月程度は必要です。

問) 町が今後、地区計画を定めるとか、今後の動きについて報告を受けるが、(株)雪国まいたけ自身が期限と言われている来年3月に、一体どのように思っているのか知りたい。答) 社長みずからが3月という期限を言われたので、まずは3月末には全ての計画が埋まるという思いで進めてもらっています。町としては、期限である3月末に向けて書面などのやりとりに支障のないように進めていきます。

10月28日、本委員会は委員全員出席のもと、兵庫県三田市及び同市北摂第二テクノパークにおいて視察研修をしました。

テクノパークは、都市計画決定後、社会経済情勢等の大幅な変化が生じ、UR都市機構としての事業中止が決定された。市として、テクノパークの整備手法としてPFIや土地信託方式など、民間主体の新たなスキームでの事業化に向けた検討を進められた。その後、民間を事業主体とした土地区画の整理事業による開発を基本の枠組みとすることに決定され、現在、大和ハウス工業(株)が事業主となり、企業誘致を進められているとの説明を受けました。その後、北摂第二テクノパークを現地視察しました。

本委員会は、12月15日午後1時より、委員全員出席のもと町執行部より西田町長、桴木副町長、山添総務主監及び関係課長等の出席を求め、所管事務調査を行いました。

1、(株)雪国まいたけの進捗状況について。

10月26日以後に、地区計画に係る地元（山面・美松台）への説明会を実施したこと、また、接着剤製造企業とプラスチック成型企業が現地を見学に来られた等の報告を受けました。主な質疑はなしです。

## 2、滋賀竜王工業団地の進捗状況について

滋賀竜王工業団地整備事業において、滋賀県土地開発公社等が実施する工業団地造成関連事業、また、竜王町が実施する国交付金事業のうち、土地の引き渡しに必要な工事については全て完了したとの報告を受けました。

主な質疑応答。

問) 東洋電機製造(株)とは、協定書締結以外に、今後、町との大きな関係はないのか。答) 土地売買契約の締結以外は、イベント的なものはないと思っています。

問) 従業員の居住地として、本当に住む場所が町として提供できるのか。答) 来ていただく以上は、努力してまいりたい。当面は、集合住宅でいかなければいけないと考えています。

以上、地域活性化特別委員会報告といたします。

○議長(小森重剛) ただいまの地域活性化特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長(小森重剛) ないようでありますので、地域活性化特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 8 人口減少対策特別委員会委員長報告

○議長(小森重剛) 日程第8 人口減少対策特別委員会委員長報告を議題といたします。

人口減少対策特別委員会委員長、森島芳男議員。

○人口減少対策特別委員会委員長(森島芳男) 人口減少対策特別委員会報告。

平成28年12月22日

委員長 森島 芳男

本委員会は、12月15日午前9時より、委員全員出席のもと町執行部より西田町長、山添総務主監、松瀬住民福祉主監、田邊教育次長兼教育総務課長、中畷健康推進課長ほか担当職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

調査内容。

1、保育園の設置状況と待機児童の状況について、平成28年4月からの入園状況と平成29年度入園申し込み状況について説明を受けました。保育園児数の定数変更（増加）により、平成29年度当初の入園希望者は、両園で受け入れ可能となる見通しです。

主な質疑応答。

問) 来年度の入園希望者がふえているが、それに対して保育士の確保はできているのか。答) 現在、3名の募集を行っている。

問) 平成28年4月以降の出生数は、どのような傾向となっているのか。また、平成28年度末の見込みはどうか。答) 平成28年10月現在までで45人で、年度末までには90人程度と予想する。

2、幼稚園の預かり保育の状況について、町立の両園の4歳・5歳児の保育期間、時間等について、また、預かり保育料金等についても説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 預かり保育の時間帯を午後4時までから午後4時30分までにした理由は何か。答) 就労目的で預かり保育を利用する保護者もふえてきたことと、また、税制改正により配偶者控除を受けられる幅が広がり、これに伴い勤務時間も長くなることが見込まれることに対応するものです。

問) 預かり保育の保育料は、保育園と比較して安いと思うがどうなのか。答) 幼稚園保育料は5,000円で、預かり保育料として4,000円程プラス、また給食費もあり、おおむね1万2,000円から3,000円ぐらいです。保育園は所得によって保育料に差があります。

3、ファミリーサポート事業をもとにした竜王町の取り組みについて、県内でファミリーサポートセンターを運営されている市町と、委託先・報酬などの状況について説明を受けました。

主な質疑応答。

問) 竜王町として、ファミリーサポート事業を立ち上げる意向はあるのか。答) 子ども広場を利用されている全員から意見を聞いていますので、その方々の声を聞きながら、また、費用対効果を考えて検討を進めていきたい。

以上、人口減少対策特別委員会報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいまの人口減少対策特別委員会委員長報告に対して、質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、人口減少対策特別委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（小森重剛） この際、申し上げます。ここで午後２時２０分まで暫時休憩いたします。

休憩 午後２時０４分

再開 午後２時２０分

○議長（小森重剛） 休憩前に引き続き会議を開きます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 9 所管事務調査報告

（議会運営委員会委員長報告）

（総務産業建設常任委員会委員長報告）

（教育民生常任委員会委員長報告）

○議長（小森重剛） 日程第9 所管事務調査報告を議題といたします。

各委員長より報告を求めます。

議会運営委員会委員長、菱田三男議員。

○議会運営委員会委員長（菱田三男） 議会運営委員会報告。

平成28年12月22日

委員長 菱田 三男

本委員会は、10月17日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成28年第2回臨時会の提案事件について説明を受けました。

今回提案される案件は、補正予算1件、人事案件1件の計2件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を10月17日の1日限りとすること及び議案の処理について審査決定しました。

また、福井県永平寺町議会より依頼のあった視察研修の受け入れについて、委員全員及び人口減少対策特別委員会委員長に出席を求め、対応することとしました。さらに、議会報告会の開催について協議し、平成29年1月21日竜王町公民館にて、テーマを「子育て、教育をみんなで考えよう」として開催することに決定しました。

次に、本委員会は、11月16日午前9時30分より、防災センターにて「委

員会のあり方について」をテーマに福井県永平寺町議会視察研修団 18名を受け入れました。

また、午後1時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、議会報告会の進め方や役割分担などについて協議しました。

次に、11月29日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、平成28年第4回定例会の提案事件について執行部より説明を受けました。

今回提案される案件は、条例改正及び新規制定6件、補正予算7件、人事案件1件、その他1件の計15件です。同議事の進行について審議し、会議録署名議員の指名、会期を12月6日から12月22日の17日間とすること及び議案の処理について審査決定しました。

次に、本委員会は、12月9日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと委員会を開催し、執行部より西田町長、山添総務主監、奥総務課長ほか担当職員の出席を求め、執行部より追加提出となる条例改正1件についての説明を受け、議案の処理について審査決定しました。

また、平成28年第4回定例会第3日の一般質問、12議員21質問について、会議の再開時間及び質問の順序等について審査決定しました。

第3日の会議は午前9時から再開し、会議は通しで行い、会議時間の延長もあり得ること及び質問の順序は質問通告書の提出順序とすることに決定しました。

以上、議会運営委員会報告といたします。

以上でございます。

○議長（小森重剛） 次に、総務産業建設常任委員会委員長、古株克彦議員。

○総務産業建設常任委員会委員長（古株克彦） 総務産業建設常任委員会所管事務調査報告。

平成28年12月22日

委員長 古株 克彦

本委員会は、閉会中の10月20日と21日の2日間、委員全員と関係課職員参加のもと、神奈川県山北町、松田町の両町を訪問し、若者を取り込む住宅施策について視察研修を行いました。山北町・松田町両町とも人口1万1,000人ほどで、一般会計の予算額が45億円前後と竜王町と規模が似通ったところがあり、期待をもって訪問しました。

ただ、地形的には両町とも山林が80%以上を占め、平地が少ないが、JR沿線・小田急沿線の駅を持ち、新宿の都心に1時間から2時間で行ける好立地にあるとのこと。また、松田町は人口減少の増田レポートにより、竜王町と同じく将来消滅する可能性のある町と指摘を受けたとのことで、親近感をもって研修を受けました。

山北町の定住対策について。

平成2年の1万4,342人をピークに人口減少が始まり、平成26年には1万1,488人にまでになった。平成21年度より、人口減少に対応するため総合的な定住対策を実施した。その対策の1つである、山北駅北側元気づくりプラン。

国の地域優良賃貸住宅制度を活用した日本で初めてのPFI事業である、山北駅北側定住促進住宅の検討経緯等について説明を受け、平成26年に完成した6階建て42戸の現場も視察してきました。

山北町のPFI事業の特徴として、日本PFIインベストメント株式会社を代表企業として、資金調達・マネジメント業務を行い、地元業者で構成する「やまきた定住促進パートナーズ株式会社」を立ち上げ、設計から施工・建物管理に至るまで実施していること。総事業費は約10億円。賃貸住宅「サンライズやまきた」は2LDKと3LDK、42戸で入居者の所得区分によって家賃が5万2,000円から7万8,000円で、相場としては比較的安い家賃の設定になっており、人気物件になっている。若い世帯を中心に入居世帯が構成されており、「サンライズやまきた」では、平成26年度に11人の子供が誕生している。

松田町の民間活力導入による住宅整備の進捗状況と行政のかかわりについて。

平成7年の1万3,270人をピークに、平成28年には1万1,043人に減少していますが、ここ数年は横ばいで推移し、単身男性の転出入が多いそうです。

松田町のPFI事業。

老朽化した公営住宅の町有地や旧警察官舎の払い下げを受けた土地を利用して、民間活力やノウハウを活用したPFI事業の取り組みをしている。平成28年10月に実施方針を公表して、平成30年に入居開始の計画で取り組んでいる。定住少子化担当室が専従で取り組んでいる。交通利便性のよさを特徴にしているが、計画物件は駅より少し離れた場所になる。定住対策は、地元業者でPFI事業に取り組もうとしている。

感想といたしまして、山北町はPFI事業に成功した事例として、松田町はPFI事業への進行形の事例としてそれぞれ研修しました。両町ともPFI事業への取り組みに並々ならぬものがあり、松田町は、山北町の成功事例を隣の町として強く競争意識を持ち、取り組んでおられると感じた。山北町は、苦勞の末に成功した自負があり、職員の力強さがあつた。松田町は、若い町長のリーダーシップのもとに、若い職員が中心となり、定住に向けた取り組みへの活気ある姿を目の当たりにした。我々議員も研修の成果として、行政に対して具体的な提言をしていく必要がある。

本委員会は、12月13日午前9時より、第1委員会室において委員全員の出席のもと、西田町長、杼木副町長、山添総務主監、込山生活安全課長ほか関係職員の出席を求め、所管事務調査を行いました。

所管事務調査。

1、環境基本条例・基本計画について。平成26年3月26日に竜王町環境基本条例が制定され、その後、環境基本計画の策定作業を開始した。平成27年1月の第1回竜王町環境審議会に始まり、5回の審議会を重ね、その間、総務産業建設常任委員会に経過報告があり、平成28年3月28日に竜王町環境審議会会長より町長へ答申され、基本計画が策定された。

「次世代へ煌く環境と交竜の郷」2016年から2021年。この内容については、環境基本計画の基本事項、基本目標、竜王町の現状と課題、施策の展開、計画の推進及び評価、環境基本計画概要版により説明を受けました。

主な質疑応答。

問) エコライフ推進協議会と基本計画とのかかわりはあるのか。答) 計画の主要施策のごみ減量、省エネがあり、エコライフ推進協議会でも取り組んでもらっている。事業所だけでなく、町民の皆様にも啓発、取り組みいただくことが大事である。計画の推進には必要な団体であるため、深いかかわりがある団体と考えている。

問) 重点プロジェクトの数値目標である満足度はどうしてはかるのか。アンケートのまとめの中の、補助制度はどんなものがあるのか。答) 満足度は、町総合計画を見直し作成する中で、アンケートに項立てにより環境要素を入れ、評価いただく。補助制度は、生ごみの堆肥補助(コンポスト、堆肥枠)がある。

2、地域防災情報等の現状について。平成28年3月9日の総務産業建設常任委員会にて、これまで検討委員会で3つのシステムの比較検討を行った結果、平

成28年度には、地域振興波を活用した地域コミュニティ無線の基本設計業務を実施するとの説明を受けたが、その後の進展のないまま12月を迎えたので、所管事務調査を行うことになった。

1、防災情報の収集・伝達体制の現状。

2、竜王町防災情報システム整備について。今までの経過と28年度以降の予定。

平成28年度、地域コミュニティ無線システム基本設計業務。平成29年度には、地域防災システムの構想設計着手。平成30年度、実施設計。平成31年度から平成32年度、（仮称）竜王町地域防災情報システムの整備（システム整備・工事施工など）

主な質疑応答。

問）地域振興波で進めていると理解してよいのか。また、地域振興波の調査は進んでいるのか。答）地域振興波の電波利用域の現地調査や回線設計を検討しており、調査結果の評価を待ちたい。調査は今年度中に着手します。

以上、総務産業建設常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） 次に、教育民生常任委員会委員長、山田義明議員。

○教育民生常任委員会委員長（山田義明） 教育民生常任委員会所管事務調査報告。

平成28年12月22日

委員長 山田 義明

本委員会は、12月14日午前9時より、第1委員会室において委員全員出席のもと、執行部より西田町長、甲津教育長、田邊教育次長兼教育総務課長ほか担当職員及び竜王中学校では市田校長、武久教頭の出席を求め、所管事務調査を行いました。

まず、竜王小学校の雷害対策について。

竜王小学校では、平成24年度以降、落雷による各種設備が故障する被害を頻繁に受けていて、平成24年度は電話交換機、平成26年度では警報盤、防排煙制御盤など計6件、平成27年度は3件と、合計額では約220万円の被害を受けた。平成27年度に専門業者による調査を実施し、平成28年度に対策工事を実施した。工事施工期間は平成28年6月から7月で、分電盤BOX内の各機器の電気経路上にSPDという避雷器を94個を設置した。設置後の雷害はなし。

次に、竜王西小学校地盤沈下対応の状況と今後の予定について。

9月27日の全員協議会でボーリングによる地盤調査、地中レーダー調査、コ

ア抜き調査、校舎周辺の地質調査を実施する旨の報告を受け、今回は、その調査の結果について、地表面や地中の日常使用に支障が予想されるふぐあいの報告を受けました。

地表面では、グラウンドの鉄棒の支柱の沈下、グラウンドと校舎との間の路面の沈下、側溝の傾き、植え込み土間の傾きとすき間など。中庭では土間の沈下、側溝の傾きによるグレーチングの変形。校舎と体育館の間では、土間の空洞とひび割れ、側溝の段差とひび割れなど、駐車場では路面沈下によるひび割れなどが発生している。地中の雨水排水管や下水管では、地表面の沈下に合わせて配管の部分沈下による排水の滞留や、下水管における汚物の堆積が見られる。

以上の報告を受けた後、竜王西小学校に出向き、現地状況を視察し現状を確認しました。

この件の主な意見は、完全復旧には、余りにも多額の費用が必要となること、また、竜王小学校の改築も予定されていることから、これらを包括的に検討した上で、今後の竜王西小学校の地盤沈下への対応を適切に行うことを執行部に求めました。

最後に、竜王中学校の取り組みについて。

学校経営方針について。地域に信頼される学校づくりのために、「子どもの命、未来を預かっている」、「子ども・保護者・地域の願いを受け止め、信頼を築いていく責任」、また、「小さなことに大きな愛情を持って望み、人材育成、変革、グローバル化に対応する」など教師の姿を一番に掲げ、「心・技・体」の学校教育目標とともに、支援員や専門家関係機関による不登校ゼロ、退職教員、大学生ボランティア支援者による学びのスタンダードの構築、学年主任会や生徒会活動などによる同僚性やOJTによるチーム竜中の成長戦略に努めておられます。

次、アクティブラーニングによる授業改善について。

学力向上の取り組みとして、アクティブラーニングを取り入れ、生徒みずからが問題を発見し、その解決に向けて主体的・協同的に学び、また、どのように学ぶかという学びの質や深まりを重視する学習を目指しています。このことで、生徒みずからが課題解決を見出す力、つまり、自力解決、そして、仲間とともに協働学習を行い、課題に対する答えと学びの成果を明らかにする授業へと改善されています。

アクティブラーニングを支え広げる学習環境づくりとして、職員室前廊下の学習机設置による主体的な学習力向上と先生の支援、また、中学校独自の土曜日学

校開放による「土曜龍昇塾」では、退職教員や大学生ボランティア支援者による学習支援で発展的学力が備わった生徒の輩出を目指されている。

次に、図書室の見学をしました。

現在、全国的に図書館の活用や運営が注目を受けている中、当校での図書室の状況を昼休みの時間帯に視察したところ、司書教諭やボランティアさんによるすばらしい図書室運営であった。利用の時間帯は、ほとんどは昼休みで、1日、30名程度が利用しています。室内は、注目されやすく、今話題の書籍が入りロススペースに置かれ、生徒の関心を集めています。また、室内の隅では将棋ができるスペースの活用もあり、ミニコンサートも催行され、生徒が集まりやすい工夫がされていました。

I C T活用の英語授業参観。

これにつきまして、昨年度、英語授業の先進地視察に行った多治見市の小中学校を記憶にとどめての、I C Tを導入された授業を参観しました。

1、2年生の授業を見る限り、多治見市とは遜色もなく、小学生からの取り組みが中1ギャップをはねのけ、なおかつ、I C Tの導入により授業の活性化が図られていることを確認できる授業内容であり、全国でも定評できるレベルの英語授業でした。

以上、教育民生常任委員会所管事務調査報告といたします。

○議長（小森重剛） ただいま、各常任委員会委員長よりそれぞれ報告がございました。

この際、一括して委員長報告に対しての質問がありましたら発言願います。

[「なし」の声あり]

○議長（小森重剛） ないようでありますので、各常任委員会委員長報告はこれで終結いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第10 議員派遣について

**○議長（小森重剛）** 日程第10 議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第126条の規定により、お手元に配付のとおり議員を派遣することにいたしたいと思っております。なお、緊急を要する場合は、議長においてこれを決定いたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

**○議長（小森重剛）** 御異議なしと認めます。よって、本件はそのように決定いた



しました。なお、派遣された議員は、派遣の結果を議長まで報告していただくようお願いいたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第 1 1 委員会の閉会中の継続調査の申出について

○議長（小森重剛） 日程第 1 1 委員会の閉会中の継続調査の申出についてを議題といたします。

各委員長から、会議規則第 7 5 条の規定によって、お手元に配付いたしましたとおり、閉会中の所管事務等の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

○議長（小森重剛） 御異議なしと認めます。よって、本件は各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

この際、町長より発言の申し出がございますので、これを認めることにいたします。

西田町長。

○町長（西田秀治） 平成 2 8 年第 4 回竜王町議会定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

数多くの議案を提出致しました。議案に対し、連日各委員会において慎重な審議を賜り、本日全ての議案を可決、御決定をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、一般質問では、今後の竜王町のまちづくりについての貴重な御意見を承り、町行政を預かる者といたしまして、力強く、また、慎重に進めていかなければならないと覚悟を新にいたしたところでございます。

開会での挨拶でもお伝え申し上げましたが、「まちづくりタウンミーティング」は約半数の自治会が終わったところでございます。自治会ごとの現状、課題をお聞かせいただきながら、地域ごとの課題を真摯に受けとめ、解決に向けて着実に優先順位をつけながら進めてまいります。

河川改修等の要望や住宅地の課題解決に関しましても、国会議員や県議員の皆さん、県幹部、また、国土交通省、農林水産省などの官僚の皆さんとの連携を

さらに強化し、継続し、国土交通省、農林水産省等への働きかけを進めてまいります。

また、1月中には全ての自治会への「まちづくりタウンミーティング」を終え、タウンミーティングの総括といたしまして、2月には町民フォーラムを開催させていただきます。

人をまもる・くらしをまもる・町をまもるために、町と町民が一体となり、行政と住民が協働でまちづくりに取り組まなければなりません。町民と行政がそれぞれ責任と役割分担をしっかりと認識し、知恵を結集し、町民と行政が一体となってまちづくりを進めてまいります。

今後も、議員の皆様方の御指導・御鞭撻をいただかないと成し得るものではないと存じます。どうか格別のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

今年も残すところ10日を切りました。来るべき年が、本町にとりまして躍進の年となりますことと、議員各位には、くれぐれも健康には十分御留意をいただき、皆様方の御健勝・御多幸を衷心より祈念申し上げ、第4回竜王町議会定例会の閉会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

**○議長（小森重剛）** 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る12月6日から本日までの17日間にわたり開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、多忙の中、連日にわたり御出席賜り、提案されました重要な議案について慎重なる御審議をいただき、大変御苦労さまでございました。また、執行部におかれましては、この間、適切なる対応をしていただき、まことにありがとうございました。

本会議、委員会において、各議員から述べられました意見や要望事項につきましては、特に考慮いただき、執行の上で十分反映されますようお願いする次第でございます。

さて、ことしを振り返ってみますと、海外では、幾度となく北朝鮮による長距離弾道ミサイルの発射、相次ぐテロ事件、リオ五輪のメダルラッシュ、アメリカの新大統領誕生など、また国内では、1月にマイナンバー制度の利用開始、3月に北海道新幹線の開業、4月に電力の完全自由化と熊本地震、5月には伊勢志摩サミットの開催とオバマ大統領による広島訪問、6月には改正公職選挙法による18歳選挙権の施行、7月には第24回参議院議員選挙、8月は国民の新たな祝日に「山の日」が施行、10月には鳥取県中部地震の大地震など多くの事件、事

象がありました。

我が町では、6月に町長選挙が実施され、第9代竜王町長に西田秀治氏が当選されました。10月には副町長に桴木栄司氏が、教育長に甲津和寿氏が就任され、本格的な西田町政のスタートとなり、現在、タウンミーティングを開催されておられます。また、第13回産業フェアでは、「近江牛発祥の地 竜王町」として高らかに宣言され、「スキヤキを愛する竜王町」として、「まるごと竜王産近江牛スキヤキプロジェクト」のロゴマークもつくられ動き出しました。

人口減少が加速する中、また、地方創生が叫ばれる中、本町においては第五次竜王町総合計画後期基本計画が見直され、竜王町まち・ひと・しごと創生総合戦略が進められつつあります。この近江牛発祥の地、スキヤキを愛する町を合い言葉に、また、今年度で滋賀竜王工業団地の造成完成とともに、多くの優良企業の早期進出により人を呼び込む雇用の創出、そのための受け皿づくりとしての住宅整備、そして、いつまでも赤ん坊から高齢者までが安心・安全に暮らせる生活環境づくりがうまく展開され、潤いと魅力ある元気な竜王町になることを強く望むものであります。

本年も余日少なくなっただけでまいりました。日々慌ただしい中であって、改めてお出会いする機会も少なからうと思えます。どうか、議員各位、並びに執行部の皆様におかれましては、この上ともに御自愛いただきまして、輝かしい新年をお迎えくださるよう、心から御祈念申し上げ、まことに言葉足りませんが、閉会に当たっての御挨拶といたします。

以上をもちまして、平成28年第4回竜王町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦勞さまでございました。

閉会 午後3時00分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

竜王町議会議長 小 森 重 剛

議会議員 松 浦 博

議会議員 古 株 克 彦